

# NPO 法人オアシス 2021市民交流会ガイド

日時 令和3年12月11日(土)13:30~16:00

場所 蒲郡商工会議所コンベンションホール

《ホール背面にてカンボジア写真展》

コロナ感染予防対策としてのマスクの着用、検温・消毒をよろしくお願いいたします。受付後、写真展をご覧ください。とりわけ子どもたちの表情に注目を。

13:30 開会・趣旨説明 篠田恵

13:35 第1部 ◇「未知の世界をつなぐマジック交流」 平出暁(蒲郡)、中村元(蒲郡)

マジック交流は、オアシス初代渡邊坂司理事長が始めたもので、100か国以上の交流実績があります。氏引退後は、上記2名が引継ぎ活動中です。アンケート用紙2を参照しながらマジック交流の効果・意義を想像いただければ幸いです。

13:50 ◇カンボジア報告「きょういくの形を問う — 私たちが元気をもらったそのわけ」

報告者【協育の窓】金田勝己(体育:設楽) 【競育の窓】神崎恭紀(体育:豊田)

【響育の窓】清水孝子(音楽:豊川) 【共育の窓】浦野憲治(数学:豊田)

2013年のバイヨン中学校開校以後、法人メンバー教員経験者を中心にそれぞれの専門教科の授業実践を積み上げてきました。また、当校教員に対しては、教科固有の教具を使つての指導法をモデル授業として提示し、指導力向上を目指してきました。

14:35 第2部 参会者との「フリートーク対話集会」

ホール左右に各1か所、後部に2か所フリートークのコーナーを設けました。どのコーナーにも上記報告者と本法人メンバーが待機していますので、報告内容や海外支援についてなど自由な対話を試みてください。途中でコーナーを変わることもまったく自由です。立ち話で恐縮ですが、会の盛り上げにご協力ください。

14:50 休憩

15:00 第3部 報告者とパネラーとの「パネルトーク」

パネラー 櫻間 寿人 氏(蒲郡市立形原中学校長)

柴田ゆかり 氏(蒲郡市立中央小学校長)

澤木 誠 氏(豊田市立下山中学校頭 本法人主催公募ツアー参加者)

パネラーの方々の疑問点を窓口に、『きょういく』の多様な有様をお示しできればと思います。

15:50 総評 蒲郡市教育委員会教育長 壁谷 幹朗 氏

16:00 閉会

お帰りの際は、アンケート用紙の回収にご協力ください。



## 【参考資料】 私たちがとらえた「4つのきょういく」のイメージ

「4つのきょういく」の様相は、短文で規定できるような単純なものではありませんが、カンボジア教育支援活動の成果から見通してみえてきたものを特長化して整理しまとめてみました。

【協育】 他者（集団）を学びのパートナーとして位置づけ、リードしたりフォローし合ったりしながら高め合っていく学び。

【競育】 他者の学び（考え・作品・技能など）を見たり聞いたりして相互に評価することで自己の能力レベルの理解が進み、もっとがんばろうといった向上心が高まる学び。

【響育】 自分自身の能力や資質の足りなさを素直に認め、新しい学びに対してそれらを積極的に活用して挑戦し習得しようといった学び。

【共育】 指導する側と指導を受ける側との2者を対峙させて捉えるのではなく、支援や指導の総体を大きく学びととらえ、それまで培った能力や知見が拡大再生産されていくような様相をとらえている。

指導する側に立った時、指導を受ける側の興味・関心や能力・資質等をなるべく詳細に把握しイメージをもって教育活動に当たることが重要である。しかし、そのイメージを最後まで固執して押し通そうとすると、両者の間に齟齬が生じなかなか思う成果が上がらないもの。支援活動（ボランティア活動）においても謙虚な姿勢で臨むことが重要であり、与えるのではなく常に「共に学ぶ姿勢」を持ち続けたいと思うこの頃。

令和3年12月1日 足立泰敏 記